

広瀬複合施設整備基本計画（案）に対するご意見の募集 （パブリックコメント）の実施結果について

1. ご意見の募集の実施結果について

広瀬交流センターと図書室機能を備えた広瀬複合施設整備基本計画の策定にあたり、先に実施しました広瀬複合施設整備基本計画（案）に対するご意見の募集（パブリックコメント）につきまして、多くのご意見をお寄せいただき誠にありがとうございました。

お寄せいただいたご意見と、それに対応する安来市の考え方を実施結果としてまとめて公表いたします。

なお、いただいたご意見は、趣旨を損なわない範囲で一部省略、要約、追記している場合があります。

2. ご意見の募集の概要

- ・実施期間：令和6年1月9日（火）から令和6年2月9日（金）17時まで
- ・閲覧場所：広瀬中央交流センター、広瀬庁舎、伯太庁舎、安来庁舎
- ・意見提出者数：7名
- ・意見項目数：14項目

3. ご意見の内容と安来市の考え方

項目番号	いただいたご意見	安来市の考え方
1	交流センターには活動にかかる用具が多くありますが、倉庫が見当たりません。 また、サークル活動等に使える供用のロッカーも希望します。	倉庫等の収納スペースは、屋内物置と屋外倉庫を一体的に捉え必要な面積を示しており、基本計画では全体の配置の中で確保する考え方としておりました。 基本計画(案)のモデルプランの比較の図では分かりにくいため、ご意見を受け、「屋外倉庫」についてはモデルプランの比較の図に追記し、屋外倉庫以外の収納スペースは欄外に考え方を追記します。
2	駐車場が狭く台数が入らないと感じました。駐車スペースは従来どおり、もしくは広瀬中央交流センターの跡地も駐車スペースになりますか？	駐車スペースは、建設地である広瀬庁舎の敷地内だけでなく、現在ご利用いただいている広瀬中央交流センターの駐車場及び、現在の広瀬庁舎職員駐車場を活用していく考えでおります。 また、広瀬中央交流センターの敷地の活用方法については別途検討していきます。

3	<p>ひろせ図書室が広くきれいになることを願っています。老若男女が集う場なので交流センターと同じ建物にあることは良いと思いますが、赤ちゃん連れに配慮した仕組みを希望します。</p>	<p>図書室の整備の方針として掲げた「憩いの場となる図書室の整備」を実現できるよう、現在よりも蔵書数を増やし、机・椅子を配置した読書スペースや学習スペースを設けたいと考えております。</p> <p>赤ちゃん連れの方に配慮した仕組みとして、おむつ替えの場所や、手押し車やベビーカーでも入られる通路の確保など、今後の基本設計作成の中で検討していきます。</p>
4	<p>交流センターからステージで発表できる場が無くなるのは寂しく感じます。はくた文化学習館(母里交流センター)のような可動式の椅子があっても良いと思います。</p>	<p>現在の広瀬中央交流センター2階の多目的ホールの利用状況や、はくた文化学習館の可動式椅子の利用状況を踏まえ、基本計画では、ステージやホールの代わりに、段差が無く多目的に利用できるスペースを確保することとしています。</p> <p>今後の基本設計作成の中で、発表会など様々な場面で利用していただける会議室等のスペースの使い方も含め検討していきます。</p>
5	<p>ダンスの練習ができるよう、鏡張りで音響設備が整った部屋を希望します。ダンス練習の環境が整うことで興味を持つ人も増え地域の活性化が進み、より楽しいまちになると思います。</p>	<p>多様なサークル活動の場として利用いただくため、ダンスの練習に有効な鏡及び音響設備は必要と考えており、基本計画では防音室に必要な設備として考慮しております。</p> <p>ダンスを始めとした様々なサークル活動の活性化により、多様なひとの交流を促し、より楽しいまちづくりの一端を担える施設となるよう検討していきます。</p>
6	<p>現在のひろせ図書室は狭いため、本を選ぶにも他の人にぶつからないよう気を配る必要があります。また、子どもとゆっくり本を読むスペースや読書スペースも限られています。</p> <p>安来市立図書館のように学生が学習できる場もあると良いと思います。</p> <p>子どもから大人まで気持ちよく利用できるような工夫を考え取り入れていただきたい。</p>	<p>図書室の整備の方針として掲げた「憩いの場となる図書室の整備」を実現できるよう、現在よりも蔵書数を増やし、机・椅子を配置した読書スペースや学習スペースを設けたいと考えております。</p> <p>皆さまに気持ちよく利用いただける、居心地の良い空間となる工夫について今後の基本設計作成の中で検討していきます。</p>
7	<p>調理室が整うと、子どもや子育て世代が先輩方から調理を教わる催しなどもできると思います。新たな施設にも調理室を備え、一緒に食べることができるスペースを希望します。</p>	<p>調理室は、イベント時や災害時の使用を想定して必要なスペースとして考えております。</p> <p>一緒に食べることができるスペースにつきましては、会議室や交流スペースの使い方や動線も含め、今後の基本設計作成の中で検討していきます。</p>

8	子どもが遊べるキッズコーナー（おままごとセットや木のおもちゃ、ボールプール等）を希望します。	キッズコーナーは、子どもからお年寄りまで多様な世代が交流できる施設として必要なスペースとして考えております。キッズコーナーへ配置する遊具につきましては、利用する子どもの年代や安全面の管理が可能な範囲で検討していきます。
9	図書室やホールから月山富田城跡を眺めることができると良いと思います。夜間の石垣のライトアップなどの景観を活かしたイベントの開催を希望します。	月山富田城跡を始めとした、歴史ある周辺環境との相乗効果が発揮できる空間づくりができるよう、イベント等での活用イメージを持ちながら今後の基本設計作成の中で検討していきます。
10	いろいろな世代が集まり交流できるよう、イベント（フリーマーケットやマルシェ、音楽発表など）ができるスペースを希望します。	イベントの開催や、サークル活動の展示などにも利用でき、普段から誰でも気軽に立ち寄ることができる様々な用途に活用可能なスペースを設けることで、多世代が交流できる施設となるよう検討していきます。
11	交流センターは社会教育を担うものでもあるが、基本計画には広瀬小学校の事が触れられておらずガッカリした。社会教育を担う施設として、また、周辺の公共施設との動線も考慮し、極端に言えば、小学校、交流センター、行政窓口を一体とした、災害時の拠点となる施設にすることで、複合化による費用対効果も上がるのではないか。	交流センターは、学校、自治会、地域の各種団体などが関わりを持ち、社会教育のみならず、地域づくりの拠点として重要な位置づけとしています。新たな複合施設では図書館機能や防災機能を充実し様々な場面で活用いただける施設として検討していく考えでおります。なお、広瀬小学校は、小中学校適正配置基本計画において再編対象となっており、今後校区ごとの検討が進められる事となっております。学校施設との複合化には、施設運営上の安全面の配慮など、慎重な判断を要する点もあり複合施設の検討においては直接の対象としておりません。
12	住民が使いやすく、子どもからお年寄りまで気軽に立ち寄れる憩いの場、人が集まる場所になるような施設にしてほしい。	イベントの開催や、サークル活動の展示などにも利用でき、普段から誰でも気軽に立ち寄ることができる様々な用途に活用可能なスペースを設けることで、多世代が交流できる施設となるよう検討していきます。
13	歴史や文化がある地域なので、そういったものを絡めた施設を希望します。	月山富田城跡を始めとした、歴史ある周辺環境との相乗効果が発揮できる空間づくりができるよう、イベント等での活用イメージを持ちながら今後の基本設計作成の中で検討していきます。

14	広瀬中学校の隣の土地に建てることで、活用を図ることができないだろうか。	建設地については、広瀬庁舎、広瀬中央交流センターがあるエリアで、市の所有地を活用して整備することとし、広瀬交流センターとしての利便性を考慮すると、広瀬庁舎敷地での建設が最適であると考えております。
----	-------------------------------------	--